



TOPICS

- ・国際文化交流海外研修
- ・包括連携協定の締結
- ・観光文化学科の講義紹介

沖縄キリスト教学院大学 人文学部

観光文化学科

キリ学キリ短の「今」が分かる

キリガク通信 キリタン

DISCOVER OCU/OCJC

2026年5月22日発行 第15号

2025年度

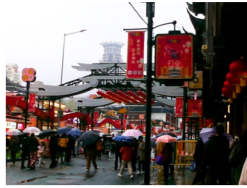
韓国・台湾・ハワイ・上海

国際文化交流海外研修

学びの舞台を世界へ 広げる未来を沖縄へ



ハワイ研修



学科長コメント



観光文化学科長
平野典男 教授

2024年度に新設された観光文化学科では、『国際文化交流海外研修』を必修科目としてカリキュラムを組んでいます。本研修は海外の歴史・文化に触れ、教育施設を視察・体験しながら、国際交流することを目的としています。2024年度入学生が観光文化学科設立以来はじめて本研修を実施。学生が研修先としてハワイ、台湾、上海、韓国のなかから希望地を選択し、教員とともに充実した研修を行いました。

国際文化交流海外研修は、2年次の必修科目として実施される海外研修プログラムです。春季休暇にあたる2月～3月の間で、4泊5日または5泊7日の日程で海外を訪れ、現地の言語や文化を体験的に学びながら、人々との交流を通して異文化への理解を深めます。観光はしばしば「平和へのパスポート」と呼ばれます。自然や文化に触れ、人々と出会うことで相互理解が生まれ、国境を越えたつながりが育まれるからです。世界各地で紛争や対立が続く今だからこそ、本研修を通して他国の歴史や文化、言語を学び、コミュニケーションの大切さと観光が持つ力を実感することは、これからの時代を生きる学生にとって大きな学びとなります。

2026/2/2～2/6

研修先：台湾

花城えみりさん
(西原高校出身)



現地の学生との交流が、今回の研修で最も心に残りました。ローカルな料理を紹介してくれたりと、観光に付き添い、道案内や通訳をしてくれたりと、温かいおもてなしを強く感じました。また、現地大学の先生によるウォーキングツアーでは、台湾の歴史や文化を肌で感じながら学ぶことができ、非常に貴重な経験となりました。



六合観光夜市を散策

2026/2/26～3/2

研修先：上海

酒井杏南さん
(那覇西高校出身)



研修では、上海博物館や魯迅公園、上海ディズニーランドを訪れ、現地の文化を体験したり、街の雰囲気を体験しました。また、上海外国語大学では中国についての講義を受け、異文化についての理解を深めることができました。現地の方々の温かさにも触れ、とても貴重な経験になりました。



上海ディズニーランド観光

2026/3/3～3/9

研修先：ハワイ

大城柚乃さん
(那覇商業高校出身)



研修では、キリ学で学んでいるフードツーリズムやコンテンツツーリズムを実際に「体験」しながら、ホノルルの観光施設を巡りました。沖縄と共通するところやハワイ独自の文化を肌で感じ、とても充実した時間を過ごしました。印象に残っているのは協定校で授業を受けたことです。さまざまな地域から集まった学生たちと観光やハワイ文化の授業を受け、英語をつかって交流し、現地で異文化を学ぶ貴重な時間を過ごすことができました。



カピオラニ・コミュニティ・カレッジで先生からDiplomaをもらいました！

2026/3/19～3/23

研修先：韓国

堀川リベカさん
(首里東高校出身)



今回の韓国研修では、歴史を身近に感じることができました。王様が食べていたとされるおかずの多い伝統的な食事を体験したり、水原行宮では韓国の歴史や伝統的な建築について学びました。韓信大学では現地の大学生と交流し、韓国語で会話する中で自分の実力を確かめることもできました。これまで知らなかった韓国の戦争の歴史やその悲惨さについて深く考える機会になりました。



韓信大学（協定校）の学生と

国内の大学として初めて 株式会社MSCクルーズジャパンとの包括連携協定を締結



詳細はこちらでもー
調印式の



握手するオリビエロ モレリ社長（中央左）と金永秀学長（中央右）



糸澤 幸子 准教授

2026年3月18日、沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期大学は、株式会社MSCクルーズジャパン（MSC group クルーズ部日本・韓国・東南アジア 代表取締役社長:オリビエロ モレリ氏）と「沖縄キリスト教学院大学及び沖縄キリスト教短期大学と株式会社MSCクルーズジャパンとの包括連携に関する協定書」の調印式を本学にて執り行いました。

本協定は、教育、研究等の分野で協力し、高度観光人材並びにホスピタリティ人材の育成、沖縄、そして日本の観光産業振興に寄与することを目的としています。

調印式では、同社のモレリ社長より「若い人の人材育成は非常に大切なこと」として、【MSCクルーズアカデミー奨学金】の創設についても発表があり、毎年2名の学生に対し、1名あたり30万円の給付型奨学金が授与されます。

本学の金永秀学長は「この度の包括連携によって、MSCクルーズとともにより良い社会を実践的に築いていける人材を育てる契機となれば」と述べました。

今回の包括連携を記念して、2026年3月20日にMSCクルーズが所有する客船「マニフィカ」の見学会が開催され、2026年5月11日にはMSCペリッシマの船内シンポジウムに金学長、上地恵龍副学長、糸澤幸子准教授が参画しました。



クルーズ船見学



調印式に参加した学生の様子

糸澤准教授コメント

周囲を海で囲まれ、大小160の島々から成る島嶼県、沖縄にとって、クルーズは今後ますます発展が期待される重要なツーリズム産業です。地理的優位性を持ち、年間を通して温暖な気候に恵まれ、多様な観光資源を有する沖縄県が取り組む課題は、地域との連携強化、港湾のインフラ整備、受入体制の充実、そして、クルーズ業界とアカデミック界との連携です。これらは、持続可能なクルーズの実現へ向けた大きな第一歩となるでしょう。本学は、日本で初めて、欧州最大の船社、MSCクルーズ社と包括連携協定を締結しました。この連携により、「非日常の世界」と思われていたクルーズを、学生がより身近に感じ、実践的なクルーズ研究活動で学びを深め、出来るだけ多くの学生にクルーズの世界を体験していただきたいと思っています。



3つの理念を中心に活動しています!!

- ・クルーズ産業に関する実証研究
- ・地域・自治体・企業との連携
- ・実践的なフィールドでの学び



クルーズ研究ゼミ1期生

地域連携 講義紹介 地域ブランド論

■観光文化学科の学生が、西原町の観光キャラクター“さわりん”と一緒に大学と町の魅力をショート動画でPR!



崎原盛秀町長（左から3番目）に動画の完成を報告

2025年度後期、観光文化学科の講義「地域ブランド論」（担当教員：安部准教授）において、西原町とコラボした講義を全4回にわたり実施しました。「文教のまち西原」のブランド力をさらに高めるため、同講義の受講学生7名が西原町（産業観光課および西原町観光まちづくり協会）の協力を得てショート動画を作成しました。

動画のタイトルは「さわりん、キリ学観光文化学科の大学生生活を振り返るの巻」。西原町の観光キャラクターさわりんが、本学観光文化学科に入学してから卒業するまでの4年間の大学生活をスライドショー形式で紹介する内容となっており、学生は企画から撮影、編集までの一連のプロセスに取り組みました。

学生たちは、普段見慣れたキャンパスや町の風景を改めて見つめ直し、「文教のまち」としての西原町の魅力や、大学の特色がどのように映像で伝わるかを試行錯誤しながら編集しました。2026年2月5日には、多大なご協力をいただいた町の関係者様に、制作した動画の完成報告をさせていただきました。



この動画からの閲覧!は

連携協定 株式会社ジャパンエンターテインメントと包括連携協定を締結しました

講義紹介 学生プロデュース! 模擬挙式を挙行了しました。



(株)ジャパンエンターテインメント 佐藤副社長（左より3番目）、金学長（右から4番目）

2026年3月12日（木）、沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期大学は、沖縄県北部に位置するテーマパーク「ジャングルア沖縄」を運営する株式会社ジャパンエンターテインメントと、今後の観光人材育成およびインターンシップ分野における協力体制の構築を目的とした協定を締結しました。本協定は、沖縄、ひいては日本の観光産業の発展に寄与する高度な観光人材の育成を目指すものです。当日は同社の佐藤大介副社長を迎え、今後の具体的な連携内容について意見交換を行いました。



模擬挙式を実行した学生たち

観光文化学科の講義「フレッシュマン・セミナー」の一環で開催された模擬挙式（2024年度に続き2回目）は、「キリガクの卒業生が、いつか母校で結婚式を挙げたくなるように」という願いを込め「結の花宣言～思い出の地で綴る、私たちの【家族】の物語～」というテーマのもと、2026年2月1日（日）に実施しました。学生たちは1年間学んできた知識やアカデミックなスキルを実践に移し、企画・準備・当日運営を通して、大きな成長を遂げる貴重な機会となりました。